1 N □ ➡ 7		宇専門学校	₹ 開講年度 令和06年度 (2	2024年度)	授業科目	電子情報工学実験 I I		
小日本的				<u>, </u>	'			
<u>- 1 日 王 :</u> 科目番号		20343		科目区分	専門 / 必修	¥		
授業形態			ミ習・実技	単位の種別と単位数	履修単位:			
開設学科		電子情報		対象学年	2	_		
別設 <u>了!</u> 開設期		通年	X	週時間数	2			
<u> </u>	 女材	実験テー		, -, -, -, -, -, -, -, -, -, -, -, -,		<u>2</u> 布される。詳細は、実験テーマの担当者から		
担当教員			Ĕうこと。 尊,松本 剛史,小村 良太郎,越野 亮,廣瀬					
到達目標		1-1-2	CITIES TO THE PROPERTY OF THE	75,75				
2 .ディジ 3 .AI/IoT	ジタル回路を Tを活用した	こ作品を制作	本素子について理解し, 説明できる することができる し, 説明できる					
ルーブリ	リック		T	T		T		
			理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの	か目安	未到達レベルの目安		
到達目標	項目 1		UNIXを理解し,説明できる。	UNIXを理解できる。		UNIXを全く説明できない。		
到達目標 項目 2			ディジタル回路を構成する基本素子について理解し, 測定結果に基づいて説明できる。	ディジタル回路を構成 子について理解し,		ディジタル回路を構成する基本素 子について全く説明できない。		
到達目標	項目 3		AI/IoTを活用した独創的な作品を 制作することができる	AI/IoTを活用した作品を制作する ことができる		AI/IoTを活用した作品を制作する ことができない		
到達目標	項目 4		正弦波交流の電圧波形を理解し、説明できる。	正弦波交流の電圧波形を理解できる。		正弦波交流の電圧波形を全く説明できない。		
 学科のヨ	到達目標	 項目との関		1 🗸 0		1 5 5 .00 0		
			本科学習目標 4					
教育方法		.,, _						
秋月刀ん	ム寸	雨ったま	アニックは球切迹もより実践的に活用で	キファレた口的 レノー	世球学士の白	したけかり タ東明初日の甘琳 レナン		
電子情報工学の基礎知識をより実践的に活用できることを目的とし、基礎学力の向上をはかり、各専F る題目について、実験、演習を行って自分で考えて理解したことを表現でき、他の実験者や指導教員の 概要 課題を解決できる能力を養う。 この科目は企業でシステムエンジニアとして勤務していた教員が、その経験を活かし、AI/IoT技術に 授業を行うものである。				実験者や指導教員との対話を通じて				
文本の進	め方・方法		4日1 ティジタル回路 フロクラミンク					
		ズムとう 【MCCタ , VI-C 実験のし	データ構造 対応】IV-A 工学実験技術(各種測定方 電気・電子系分野(実験・実習能力) シポートは必ず定められた期限内に提出	· 法、データ処理、考察 , VI-D 情報系分野(すること。	方法), IV-C 実験・実習能	情報リテラシー, V-C-6計測 力), 情報教育対応科目		
主意点		ズ【 M C C ズ 【 M C C ズ 【 M C C ズ 【 M C C Z 、 実 製 達 評 期 限 可 原 的 間 が 別 の 9 実 険 と で よ で よ で よ で よ で よ で よ で よ で よ で よ で	データ構造 対応】IV-A 工学実験技術(各種測定方電力・電子系分野(実験・実習能力) ポートは必ず定められた期限内に提出 のでは度を確認するため、提出された が法・評価基準】 平価は、前期末までに終了したテーマのでに提出すること。各テーマについて次 基準として50点以上を合格とする。なお上回らない。 大況(事前準備、器具の扱い、班内の貢	i法、データ処理、考察 , VI-D 情報系分野(すること。 レポートに対して質問 レポート点数の平均と の内訳で総合的に評価 , いずれかのテーマで 献, 14日間を超える提	方法), IV-C 実験・実習能 することがある する。全テーマ し、デーマ数で の評価点がの点 出遅れなど)	情報リテラシー, V-C-6計測力),情報教育対応科目 3。 マのレポートを, テーマごとの提出で平均した結果を成績とする。成績		
		ズ【 M C C ズ 【 M C C ズ 【 M C C ズ 【 M C C Z 、 実 製 達 評 期 限 可 原 的 間 が 別 の 9 実 険 と で よ で よ で よ で よ で よ で よ で よ で よ で よ で	データ構造 対応】IV-A 工学実験技術(各種測定方電気・電子系分野(実験・実習能力) ルポートは必ず定められた期限内に提出 の達成度を確認するため,提出された 方法・評価基準】 評価は,前期末までに終了したテーマのでに提出すること。各テーマについて次 として50点以上を合格とする。なお 上回らない。	i法、データ処理、考察 , VI-D 情報系分野(すること。 レポートに対して質問 レポート点数の平均と の内訳で総合的に評価 , いずれかのテーマで 献, 14日間を超える提	方法), IV-C 実験・実習能 することがある する。全テーマ し、デーマ数で の評価点がの点 出遅れなど)	情報リテラシー, V-C-6計測力),情報教育対応科目 3。 マのレポートを,テーマごとの提出で平均した結果を成績とする。成績 意となった場合には,学年成績は		
テスト	星性・ 履	ズ【 VI -C しまで、 実到【前期限評点集計 にまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	データ構造 対応】IV-A 工学実験技術(各種測定方電気・電子系分野(実験・実習能力) いポートは必ず定められた期限内に提出 悪の達成度を確認するため,提出された 方法・評価基準】 評価は,前期末までに終了したテーマのでに提出すること。各テーマについて次 基準として50点以上を合格とする。なお 上回らない。 状況(事前準備,器具の扱い, 班内の貢 -ト(図表などの書き方,実験結果の整	i法、データ処理、考察 , VI-D 情報系分野(すること。 レポートに対して質問 レポート点数の平均と の内訳で総合的に評価 , いずれかのテーマで 献, 14日間を超える提	方法), IV-C 実験・実習能 することがある する。全テーマ し、デーマ数で の評価点から点 出遅れなど)	情報リテラシー, V-C-6計測力),情報教育対応科目 3。 マのレポートを,テーマごとの提出で平均した結果を成績とする。成績 意となった場合には,学年成績は		
テスト 受業の属	<u>属性・履</u> ティブラー <u>-</u>	ズ【MCCジ 、VI-C 実発達評期限別の 前期限評点を のの ション ・・ 修上の区	データ構造 対応】IV-A 工学実験技術(各種測定方電気・電子系分野(実験・実習能力) いポートは必ず定められた期限内に提出 悪の達成度を確認するため,提出された 方法・評価基準】 評価は,前期末までに終了したテーマのでに提出すること。各テーマについて次 基準として50点以上を合格とする。なお 上回らない。 状況(事前準備,器具の扱い, 班内の貢 -ト(図表などの書き方,実験結果の整	i法、データ処理、考察 , VI-D 情報系分野(すること。 レポートに対して質問 レポート点数の平均と の内訳で総合的に評価 , いずれかのテーマで 献, 14日間を超える提	方法), IV-C 実験・実習能 することがある する。全テーマ し、デーマ数で の評価点から点 出遅れなど)	情報リテラシー, V-C-6計測力),情報教育対応科目 3。 マのレポートを,テーマごとの提出で平均した結果を成績とする。成績にとなった場合には,学年成績は 40%		
テスト 受業の原 』 アクテ	ティブラーニ	ズ【MCCジ 、VI-C 実発達評期限別の 前期限評点を のの ション ・・ 修上の区	データ構造 対応】IV-A 工学実験技術(各種測定方電力・電子系分野(実験・実習能力) ポートは必ず定められた期限内に提出 の達成度を確認するため,提出された 方法・評価基準】 平価は,前期末までに終了したテーマのでに提出すること。各テーマについて次 基準として50点以上を合格とする。なお 上回らない。 状況(事前準備,器具の扱い,班内の貢一ト(図表などの書き方,実験結果の整	法、データ処理、考察 , VI-D 情報系分野(すること。 レポートに対して質問 レポート点数の平均と の内訳で総合的に評価 , いずれかのテーマで 献, 14日間を超える提 理と検討, 提出期限な	方法), IV-C 実験・実習能 することがある する。全テーマ し、デーマ数で の評価点から点 出遅れなど)	る。 マのレポートを,テーマごとの提出 で平均した結果を成績とする。成績 ほとなった場合には,学年成績は		
テスト 受業の原 』 アクテ	ティブラーニ	ズ【 VI -C しん VI -C し	データ構造 対応】IV-A 工学実験技術(各種測定方電気・電子系分野(実験・実習能力) ポートは必ず定められた期限内に提出 悪の達成度を確認するため,提出された う法・評価基準】 平価は,前期末までに終了したテーマのでに提出すること。各テーマについて次 基準として50点以上を合格とする。なお 上回らない。 状況(事前準備,器具の扱い,班内の貢 一ト(図表などの書き方,実験結果の整	法、データ処理、考察 , VI-D 情報系分野(すること。 レポートに対して質問 レポート点数の平均と の内訳で総合的に評価 , いずれかのテーマで 献, 14日間を超える提理と検討, 提出期限な	(方法) , IV-C 実験・実習能 することがある する。全テーマ し、デーマ数で の評価点がの点 出遅れなど) ど) 60%	情報リテラシー, V-C-6計測力),情報教育対応科目 3。 そのレポートを,テーマごとの提出で平均した結果を成績とする。成績 をなった場合には,学年成績は 40%		
テスト 受業の原 』アクテ	ティブラーニ	ズ【 M C C ズ	データ構造 対応】IV-A 工学実験技術(各種測定方電気・電子系分野(実験・実習能力) ポートは必ず定められた期限内に提出 の達成度を確認するため,提出された 方法・評価基準】 平価は,前期末までに終了したテーマのでに提出すること。各テーマについて次基準として50点以上を合格とする。なお上回らない。 状況(事前準備,器具の扱い,班内の貢-ト(図表などの書き方,実験結果の整 図 ICT 利用	法、データ処理、考察 , VI-D 情報系分野(すること。 レポートに対して質問 レポート点数の平均との内訳で総合的に評価 の内訳で総合のに評価 , いずれかのテーマで 献, 14日間を超える提 理と検討, 提出期限な	方法), IV-C 実験・実習能 することがある する。全テーマ し、デーマ数で の評価点がの点 出遅れなど) 60%	情報リテラシー, V-C-6計測力),情報教育対応科目 3。 そのレポートを,テーマごとの提出で平均した結果を成績とする。成績にとなった場合には,学年成績は 40%		
テスト 受業の原 』アクテ	ティブラーニ	ズ【 MCC ス	データ構造 対応】IV-A 工学実験技術(各種測定方電気・電子系分野(実験・実習能力) ポートは必ず定められた期限内に提出 の達成度を確認するため,提出された が法・評価基準】 平価は、前期末までに終了したテーマのでに提出すること。各テーマについて次基準として50点以上を合格とする。なお上回らない。 以況(事前準備、器具の扱い, 班内の貢ト(図表などの書き方,実験結果の整 図 ICT 利用 授業内容 UNIX入門(1)	法、データ処理、考察 , VI-D 情報系分野(すること。 レポートに対して質問 レポート点数の平均と の内訳で総合的に評価 , いずれかのテーマで 献, 14日間を超える提 理と検討, 提出期限な □ 遠隔授業対応 □ 週ご UNI	方法), IV-C 実験・実習能 することがある する。全テース し、デースがの点 の評価点がの点 出遅れなど) 60%	情報リテラシー, V-C-6計測力),情報教育対応科目 3。 そのレポートを,テーマごとの提出で平均した結果を成績とする。成績にとなった場合には,学年成績は 40%		
テスト 受業の原 』アクテ	ティブラーニ	ズ【 WI-C しん WI-C しん WI-C しん WI-C しん 実到【前期の99実レー・・・ 上 の 上 グ 週 週 週 週 2週 2週	データ構造 対応】IV-A 工学実験技術(各種測定方電気・電子系分野(実験・実習能力) ポートは必ず定められた期限内に提出 の達成度を確認するため,提出された 方法・評価基準】 呼価は,前期末までに終了したテーマのでに提出すること。各テーマについて次 に提出すること。各テーマについて次 は上回らない。 以況(事前準備,器具の扱い, 班内の貢 ト(図表などの書き方,実験結果の整 図 ICT 利用 授業内容 UNIX入門(1) UNIX入門(1)	i法、データ処理、考察 , VI-D 情報系分野(すること。 レポートに対して質問 レポート点数の平均と の内訳で総合的に評価 c, いずれかのテーマで 献, 14日間を超える提 理と検討, 提出期限な □ 遠隔授業対応 □ 週ご UNI UNI	方法), IV-C 実験・実習能 することがある する。全テー教 の評価点がの点 出遅れなど) 60%	情報リテラシー, V-C-6計測力),情報教育対応科目 3。 マのレポートを, テーマごとの提出で平均した結果を成績とする。成績でおった場合には, 学年成績は 40% ② 実務経験のある教員による授		
テスト 受業の原 』アクテ	ティブラーニ	ズ【 YI-C しん VI-C に	データ構造 対応】IV-A 工学実験技術(各種測定方電気・電子系分野(実験・実習能力) レポートは必ず定められた期限内に提出 変の達成度を確認するため,提出された 方法・評価基準】 評価は,前期末までに終了したテーマのでに提出すること。各テーマについて次に提出すること。各テーマについて次に提出すること。各テーマについて次に提出すること。方法・アートの方でに提出すること。方法・アートの方でに提出すること。方法・アートの方でに提出すること。方法・アートの表がでの書き方、実験結果の整理を表して、関表などの書き方、実験結果の整理を表して、対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対	i法、データ処理、考察 , VI-D 情報系分野() すること。 レポートに対して質問 レポート点数の平均色の内訳で総合的に評価 が, いずれかのテーマで 献, 14日間を超える提 理と検討, 提出期限な □ 遠隔授業対応 UNI UNI UNI	方法), IV-C 実験・実習能 することがある する。全テーマ し、評価点がの点 出遅れなど) ど) 60% どとの到達目標 Xを理解し、説 Xを理解し、説	情報リテラシー, V-C-6計測力),情報教育対応科目 る。 マのレポートを, テーマごとの提出で平均した結果を成績とする。成績高となった場合には, 学年成績は 40% ② 実務経験のある教員による授い		
テスト 受業の原 』 アクテ	ディブラー <u>:</u> 画	ズ【・大田 大田 大	データ構造 対応】IV-A 工学実験技術(各種測定方電気・電子系分野(実験・実習能力) レポートは必ず定められた期限内に提出 変の達成度を確認するため,提出された 方法・評価基準 呼価は,前期末までに終了したテーマの 変に提出すること。各テーマについて次 に提出すること。各テーマについて次 には出すること。各テーマについて次 には出すること。方法・評価を は、前期末までに終了したテーマの でに提出すること。方法・評価を は、前期末までに終了したテーマの でに対した。 でに対した。 は、一ト(図表などの書き方、実験結果の整 「図表などの書き方、実験結果の整 「図表などの書き方、実験結果の整 「図表などの書き方、実験結果の整 「図」ICT 利用	i法、データ処理、考察 , VI-D 情報系分野() すること。 レポートに対して質問 レポート点数の平均との内訳で総合的に評価 があった。 成,いずれかのテーマで 就,14日間を超える提理と検討,提出期限な は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	方法), IV-C 実験・実習能 することがある。 する。テーマがの点 出遅れなど) 60% との到達目標 Xを理解し」, 記 Xを理解し」, 記 Xを理解し」, 記 Xを理解し、記 Xを理解し、記	情報リテラシー, V-C-6計測力),情報教育対応科目 る。 そのレポートを, デーマごとの提出で平均した結果を成績とする。成績をなった場合には, 学年成績は 40% ② 実務経験のある教員による授業 説明できる。 説明できる。		
Fスト 受業の原 1 アクテ	ティブラーニ	X	データ構造 対応】IV-A 工学実験技術(各種測定方電気・電子系分野(実験・実習能力) ポートは必ず定められた期限内に提出 の達成度を確認するため,提出された 方法・評価基準】 評価は、前期末までに終了したテーマのでに提出すること。各テーマについて次基準として50点以上を合格とする。なお上回らない。 技に関係して50点以上を合格とする。なお上回らない。 とは、の書き方、実験結果の整 「区ででは、のででは、のででは、のででは、のででは、のででは、のででは、のででは、	法、データ処理、考察 , VI-D 情報系分野(すること。 レポートに対して質問 レポート点数の平均との内訳で総合的に評価 が, いずれかのテーマで 就, 14日間を超える提 理と検討, 提出期限な □ 遠隔授業対応 UNI UNI UNI UNI	(方法) , IN-C 実験・実習能 することがある する。全一ないののでは、 でででは、 (との型) はいいでは、 (との型) はいいでは、 (とので) はいいでは、 (とので) はいいでは、 (とので) はいいでは、 (とので) はいいでは、 (とので) はいいでは、 (とので) はいいで) はいいで) はいいでは、 (とので) はいいで)	情報リテラシー, V-C-6計測力),情報教育対応科目 3。 そのレポートを, テーマごとの提出で平均した結果を成績とする。成績にとなった場合には, 学年成績は 40% ② 実務経験のある教員による授いできる。 説明できる。 説明できる。 説明できる。 説明できる。		
Fスト 受業の原 1 アクテ	ディブラー <u>:</u> 画	ズ【 , 実到【前期の29ました。	データ構造 対応】IV-A 工学実験技術(各種測定方電気・電子系分野(実験・実習能力) ポートは必ず定められた期限内に提出 の達成度を確認するため,提出された 方法・評価基準】 平価は、前期末までに終了したテーマのでに提出すること。各テーマについて次基準として50点以上を合格とする。なお上回らない。 状況(事前準備、器具の扱い, 班内の貢一ト(図表などの書き方,実験結果の整 図 ICT 利用 授業内容 UNIX入門(1) UNIX入門(2) UNIX入門(3) UNIX入門(4) UNIX入門(5)	法、データ処理、考察 , VI-D 情報系分野(すること。 レポートに対して質問 レポート点数の平均との内訳で総合的に評価 。, いずれかのテーマで 献, 14日間を超える提 理と検討, 提出期限な □ 遠隔授業対応 UNI UNI UNI UNI	方法 実験・実習能 することがある することがある することがある することがある することがある でエマががは とのの知遅れなど) でを理理解はしししい。 Xをを理理解し、 X X を理解し、 X X を理解し、 X X X とを理解し、 X X とを理解し、 X X とを理解し、 X X とを理解し、 X X とを理解し、 X X と X X とを理解し、 X X とを理解し、 X X と X X とを理解し、 X X と X X と X X と X X X X X X X X X X X	情報リテラシー, V-C-6計測力),情報教育対応科目 3。 そのレポートを, テーマごとの提出で平均した結果を成績とする。成績にとなった場合には, 学年成績は 40% ② 実務経験のある教員による授業 説明できる。 説明できる。 説明できる。 説明できる。 説明できる。 説明できる。 説明できる。 説明できる。 説明できる。		
テスト 受業の原 ② アクテ 受業計画	ディブラー <u>:</u> 画	X	データ構造 対応】IV-A 工学実験技術(各種測定方電気・電子系分野(実験・実習能力) レポートは必ず定められた期限内に提出 気が速度を確認するため、提出された 方法・評価基準】 評価は、前期末までに終了したテーマのでに提出すること。各テーマについて次まとして50点以上を合格とする。なお上回らない。 状況(事前準備、器具の扱い、班内の貢一ト(図表などの書き方、実験結果の整	は、データ処理、考察 , VI-D 情報系分野(すること。 レポートに対して質問 レポート点数の平均と の内訳で総合的に評価 就, 14日間を超える提理と検討, 提出期限な □ 遠隔授業対応 □ UNI UNI UNI UNI UNI UNI	方法 実験・実習能 することがある ましの出と することがある ま一点など かってがが ま一点など かっていかがら なーでではなど) での理解れなど) での理解解しししししししししししい。 X X を を 理解解ししい。 X X を を 理解解しい。 X X X を を 理解を しい。 X X X X X X X X X X X X X X X X X X X	情報リテラシー, V-C-6計測力),情報教育対応科目 る。 そのレポートを, テーマごとの提出で平均した結果を成績とする。成績を表しなった場合には, 学年成績は 40% ② 実務経験のある教員による授業 説明できる。		
テスト 授業の原 図 アクテ 授業計画	ディブラー <u>:</u> 画	ズ【 , 実到【前期の29ました。	データ構造 対応】IV-A 工学実験技術(各種測定方電気・電子系分野(実験・実習能力) ポートは必ず定められた期限内に提出 の達成度を確認するため,提出された 方法・評価基準】 平価は、前期末までに終了したテーマのでに提出すること。各テーマについて次基準として50点以上を合格とする。なお上回らない。 状況(事前準備、器具の扱い, 班内の貢一ト(図表などの書き方,実験結果の整 図 ICT 利用 授業内容 UNIX入門(1) UNIX入門(2) UNIX入門(3) UNIX入門(4) UNIX入門(5)	は、データ処理、考察 , VI-D 情報系分野(すること。 レポートに対して質問 レポート点数の平均価の内訳で総合的に評価で がすれかのテーマで 就, 14日間を超える提理と検討, 提出期限な 団 遠隔授業対応 UNI UNI UNI UNI UNI UNI UNI	方法 実験・実際・ することがある こと全一点など かある こと全一点など ででである。 一点など のの理解れなど のの理解解解解を はしししししい。 X X X X X X X X X X X X X X X X ジ明できる。	情報リテラシー, V-C-6計測力), 情報教育対応科目 る。 スのレポートを, テーマごとの提出でいる。成績にとなった場合には, 学年成績は 40% ② 実務経験のある教員による授う 説明できる。		
	ディブラー <u>:</u> 画	X	データ構造 対応】IV-A 工学実験技術(各種測定方電気・電子系分野(実験・実習能力) レポートは必ず定められた期限内に提出 気が速度を確認するため、提出された 方法・評価基準】 評価は、前期末までに終了したテーマのでに提出すること。各テーマについて次まとして50点以上を合格とする。なお上回らない。 状況(事前準備、器具の扱い、班内の貢一ト(図表などの書き方、実験結果の整	は、データ処理、考察 、VI-D 情報系分野(すること。 レポートに対して質問 レポート点数の平均価の内訳で総合的にママで が、いずれかのテーマで 献、14日間を超える提理と検討,提出期限な 国ご UNI UNI UNI UNI UNI UNI UNI UNI	が、実験・ます。 N-C 実験・まする。 ティンの 出ど)	情報リテラシー, V-C-6計測力),情報教育対応科目 る。 そのレポートを,テーマごとの提出でいる。成績にとなった場合には,学年成績は40% ② 実務経験のある教員による授業 説明できる。		
テスト 授業の原 図 アクテ 授業計画	画 1stQ	X	データ構造 対応】IV-A 工学実験技術(各種測定方電気・電子系分野(実験・実習能力) ルポートは必ず定められた期限内に提出 の達成度を確認するため,提出された 方法・評価基準】 評価は,前期末までに終了したテーマのでに提出すること。各テーマについて次 に提出すること。各テーマについて次 上回らない。 状況(事前準備,器具の扱い,班内の貢 ト(図表などの書き方,実験結果の整 図 ICT 利用 授業内容 UNIX入門(1) UNIX入門(2) UNIX入門(3) UNIX入門(4) UNIX入門(5) UNIX入門(6) UNIX入門(7) ディジタル回路の基礎(1)	は、データ処理、考察 , VI-D 情報系分野(すること。 レポートに対して質問 レポート点数の平均価の内訳で総合的にママで 就, 14日間を超える提理と検討, 提出期限な 団 遠隔授業対応 UNI UNI UNI UNI UNI UNI UNI UNI	が、実験・ます。 N-C 実験・まする。 ティンの 出ど)	情報リテラシー, V-C-6計測力),情報教育対応科目 る。 そのレポートを,テーマごとの提出でいる。成績にとなった場合には,学年成績は40% ② 実務経験のある教員による授業 説明できる。		
テスト 授業の原 図 アクテ 授業計画	ディブラー <u>:</u> 画	A	データ構造 対応】IV-A 工学実験技術(各種測定方電気・電子系分野(実験・実習能力) ルポートは必ず定められた期限内に提出 の達成度を確認するため,提出された 方法・評価基準】 評価は,前期末までに終了したテーマのでに提出すること。各テーマについて次 をとして50点以上を合格とする。なお 上回らない。 状況(事前準備,器具の扱い,班内の責 ト(図表などの書き方,実験結果の整 図 ICT 利用 授業内容 UNIX入門(1) UNIX入門(2) UNIX入門(3) UNIX入門(4) UNIX入門(5) UNIX入門(6) UNIX入門(7) ディジタル回路の基礎(1) ディジタル回路の基礎(2)	大学	N-C N-	情報リテラシー, V-C-6計測力),情報教育対応科目 る。 そのレポートを, テーマごとの提出でいた結果を成績とする。成績にとなった場合には, 学年成績は 40% ② 実務経験のある教員による授業 説明できる。		

		13週	ディジタル回路の基礎(6)	ディジタル回路を構成する基本素子について理解し 」,説明できる。		
		14週	ディジタル回路の基礎(7), レポート指導	ディジタル回路を構成する基本素子について理解し , 説明できる。		
		15週	前期復習			
		16週				
		1週	交流回路の基礎(1)	正弦波交流の電圧波形を理解し,説明できる。		
		2週	交流回路の基礎(2)	正弦波交流の電圧波形を理解し,説明できる。		
		3週	交流回路の基礎(3)	正弦波交流の電圧波形を理解し,説明できる。		
	2rd0	4週	交流回路の基礎(4)	正弦波交流の電圧波形を理解し,説明できる。		
	3rdQ	5週	交流回路の基礎(5),レポート指導	正弦波交流の電圧波形を理解し,説明できる。		
		6週	AI演習(1)	AIを活用した作品を制作することができる。		
		7週	AI演習(2)	AIを活用した作品を制作することができる。		
後期		8週	AI演習(3)	AIを活用した作品を制作することができる。		
(安 川		9週	AI演習(4)	AIを活用した作品を制作することができる。		
		10週	AI演習(5)	AIを活用した作品を制作することができる。		
		11週	AI演習(6)	AIを活用した作品を制作することができる。		
	4+b0	12週	AI演習(7)	AIを活用した作品を制作することができる。		
	4thQ	13週	AI演習(8)	AIを活用した作品を制作することができる。		
		14週	AI演習(9)	AIを活用した作品を制作することができる。		
		15週	後期復習			
		16週				
モデル	コアカリ	キュラム	の学習内容と到達目標			

モデルコス	<u>/カリキュ</u>	フムの字習	内容と到達		ı	1
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
	工学基礎	工学実験技術(各種)デー 方処理法) タタ方法)	工学実験技 術(各、理法) 方法、理法) 察方法(基本)	物理、化学、情報、工学における基礎的な原理や現象を明らかに するための実験手法、実験手順について説明できる。	1	
				実験装置や測定器の操作、及び実験器具・試薬・材料の正しい取扱を身に付け、安全に実験できる。	1	
				実験データの分析、誤差解析、有効析数の評価、整理の仕方、考察の論理性に配慮して実践できる。	1	
				実験テーマの目的に沿って実験・測定結果の妥当性など実験データについて論理的な考察ができる。	1	
				実験ノートや実験レポートの記載方法に沿ってレポート作成を実践できる。	1	
				実験データを適切なグラフや図、表など用いて表現できる。	1	
自体的织力				実験の考察などに必要な文献、参考資料などを収集できる。	1	
基礎的能力				実験・実習を安全性や禁止事項など配慮して実践できる。	1	
				個人・複数名での実験・実習であっても役割を意識して主体的に取り組むことができる。	1	
				共同実験における基本的ルールを把握し、実践できる。	1	
				レポートを期限内に提出できるように計画を立て、それを実践できる。	1	
		情報リテラシー	情報リテラシー	同一の問題に対し、それを解決できる複数のアルゴリズムが存在しうることを知っている。	2	
				与えられた基本的な問題を解くための適切なアルゴリズムを構築することができる。	2	
				任意のプログラミング言語を用いて、構築したアルゴリズムを実 装できる。	2	
	分野別の専 門工学	電気・電子 系分野	計測	計測方法の分類(偏位法/零位法、直接測定/間接測定、アナログ 計測/ディジタル計測)を説明できる。	4	
				精度と誤差を理解し、有効数字・誤差の伝搬を考慮した計測値の 処理が行える。	4	
				SI単位系における基本単位と組立単位について説明できる。	4	
専門的能力				オシロスコープの動作原理を説明できる。	4	
	分野別の工 学実験・実 習能力	電気・電子 系分野【実 験・実習能 力】	電気・電子 系【実験実 習】	インピーダンスの周波数特性を考慮し、実験結果を考察できる。	4	
				論理回路の動作について実験結果を考察できる。	4	
				ダイオードの電気的特性の測定法を習得し、その実験結果を考察 できる。	4	
				ディジタルICの使用方法を習得する。	4	
רלמטנחו ובּי		情報系分野 【実験・実 習能力】	情報系【実験・実習】	与えられた問題に対してそれを解決するためのソースプログラム を、標準的な開発ツールや開発環境を利用して記述できる。	4	
				ソフトウェア生成に利用される標準的なツールや環境を使い、ソ ースプログラムをロードモジュールに変換して実行できる。	4	
				ソフトウェア開発の現場において標準的とされるツールを使い、 生成したロードモジュールの動作を確認できる。	4	
				フローチャートなどを用いて、作成するプログラムの設計図を作 成することができる。	4	
				問題を解決するために、与えられたアルゴリズムを用いてソース プログラムを記述し、得られた実行結果を確認できる。	4	
				基礎的な論理回路を構築し、指定された基本的な動作を実現できる。	4	

	論理回路などハート 測定ができる。	論理回路などハードウェアを制御するのに最低限必要な電気電子 測定ができる。			
評価割合					
	ポートフォリオ	その他	合計		
総合評価割合	60	40	100		
基礎的能力	0	0	0		
専門的能力	60	40	100		
分野横断的能力	0	0	0		